

第29回

北海道 野生生物写真コンテスト

応募期間 2023年8月1日(火)～8月22日(火)まで(8月22日必着)



▲第28回動物部門1席「リスも木から落ちる」(成田一之慎さん)



▲2席「戯れの時間」(田畑由紀さん)



▲2席「つどう」(深町知博さん)



▲第28回植物部門1席「秋色」(山口健一さん)



▲2席「サクラソウの夢」(高堂匠美さん)

公益財団法人北海道新聞野生生物基金は今年も北海道野生生物写真コンテストを開催します。北海道の自然の魅力を切り取って応募しませんか？コンテストの入賞・入選作品は、11月3日～8日に富士フィルムフォトサロン札幌で開く写真展に展示します。

作品募集要項

■テーマと応募規定

動物(野生の哺乳類、鳥類、昆虫、は虫類、魚介類など)と植物(野生の草花、樹木、キノコなど)の2部門。北海道で撮影したカラーの単写真で、未発表のものに限ります。サイズは四つ切りか四つ切りワイド、A4判も可。応募点数は動物、植物両部門合わせて1人3点までで、4枚以上届いた場合は、基金事務局で選択させていただきます。

次の写真は応募できません。

- ・動物の繁殖(巣立ったひなも含む)に影響を及ぼす写真
- ・撮影のために餌付けで動物を呼び寄せた写真
- ・植物の保護地域に立ち入って撮影した写真
- ・意図的に自然物に手を加えて撮影した写真
- ・合成写真(多重露出、多重露光を含む)、外来種の作品など

規定に違反していると判明した場合、入賞を取り消すことがあります。

■応募方法

下記の応募票に必要事項を記入し、各作品の裏側に必ず作品の天地と同じ方向にしてセロハンテープでしっかり貼り付けてください。2枚以上(3枚まで)応募する場合は、応募票をコピーして各作品に貼付し、作品保護のため1枚ずつ透明または半透明のビニール袋に入れてください。郵送時の汚れや破損など、万一の事故に対する責任は負いかねますので、ご了承ください。

。応募票は当基金HPからもダウンロードできます。

■応募期間

8月1日(火)から8月22日(火)まで(8月22日必着)。

■成績発表

9月末までに北海道新聞紙上。

■作品送付先

〒060-8711 札幌市中央区大通西3丁目6
北海道新聞野生生物基金 宛て

■入賞・入選

◎ 動物部門：1席1点10万円、2席2点各5万円、3席3点各2万円、鮫島和子賞1点5万円(以上商品券)、入選・優秀作若干点

◎ 植物部門：1席1点10万円、2席1点5万円、3席1点2万円、鮫島和子賞1点5万円(以上商品券)、入選・優秀作若干点

*鮫島和子さんは当基金監事として運営にご尽力され、2010年のご逝去に際し、愛してやまなかった北海道の自然を守るため多額の寄付をされました。ご遺志を受け継ぐため、鮫島和子賞を2011年度から創設いたしました。

■応募作品

応募作品は返却しません。入賞・入選作品の使用権は主催者に属し、プリント展示、出版物、インターネット、当基金HPなどへ無償で使用させていただきます。入賞・入選作品による写真展を11月に札幌で開催しますので、入賞作品は原板のフィルムやデジタルデータをお借りします。また、当基金制作の2025年版カレンダーに使用する作品を応募作品の中から選び、カレンダー制作にも写真の原板をお借りします。

■個人情報の取り扱い

応募票に記載していただく個人情報は、入賞通知など本コンテストを運営するために必要な範囲で使用します。また、成績発表や写真展などで使用する作品には撮影者名や市町村名などを明示させていただきます。

■審査委員

寺沢孝毅(写真家)、奥田實(写真家)、小川巖(エコ・ネットワーク代表)ほか。(予定)

■問い合わせ先

公益財団法人北海道新聞野生生物基金
(土・日・祝日を除く9時30分～17時30分)
電話 011-210-5773

■第29回北海道野生生物写真コンテスト 応募票

フリガナ		応募部門	動物/植物(いずれかに○)
氏名		作品名(画題)	
住所	〒	動植物名	
		撮影場所	
		撮影年月	年 月
職業/年齢/性別	/ 歳/男・女	応募点数	動物 点/植物 点/合計 点
電話番号		※作品募集要項にある注意事項は厳守します。	